

第8回 観光立国推進閣僚会議 議事要旨

日時:平成 29 年 12 月 22 日(金)9:45～9:55

場所:官邸4階大会議室

出席:安倍内閣総理大臣、麻生副総理・財務大臣、野田総務大臣・内閣府特命担当大臣、上川法務大臣、林文部科学大臣、加藤厚生労働大臣・内閣府特命担当大臣、齋藤農林水産大臣、世耕経済産業大臣・内閣府特命担当大臣、石井国土交通大臣、中川環境大臣・内閣府特命担当大臣、小野寺防衛大臣、菅内閣官房長官、吉野復興大臣、小此木国家公安委員長・内閣府特命担当大臣、江崎内閣府特命担当大臣、松山内閣府特命担当大臣、茂木内閣府特命担当大臣、梶山内閣府特命担当大臣、鈴木東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣、中根外務副大臣、西村内閣官房副長官、野上内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、和泉総理大臣補佐官、古谷内閣官房副長官補、田村国土交通省観光庁長官、平井内閣審議官、水嶋内閣審議官兼国土交通省観光庁次長

○石井国土交通大臣より冒頭発言

・ただ今から観光立国推進閣僚会議の第8回会合を開催する。本日は、「国際観光旅客税(仮称)の使途に関する基本方針等について」(案)をお諮りする。

○田村国土交通省観光庁長官より、「国際観光旅客税(仮称)の使途に関する基本方針等について」(案)について説明。

○意見交換

(麻生財務大臣)

- ・観光財源については、日本人出国者を含む負担者の納得を得られるよう、受益と負担の関係を明確にすることが重要。
- ・こうした観点から、観光立国を目指す中で、空港だけでなく港湾も含めて、多くの旅行者が一度に訪問されても待ち時間なくスムーズな出入国が可能となるよう、CIQ体制を整備することが大変重要。それに加え、保安の確保も大変重要であり、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、旅客の利便性と安全性の確保に十分な配慮をお願いしたい。
- ・31年度以降の観光財源の使途について、しっかりと検討をお願いしたい。

(石井国土交通大臣)

- ・他にご発言はございますか。
- ・それでは、「国際観光旅客税(仮称)の使途に関する基本方針等について」(案)を御了解頂いたということによいか。それではその通りとする。
- ・最後に、安倍内閣総理大臣からご発言を頂く。

○安倍内閣総理大臣ご発言

・安倍内閣においては、観光を成長戦略の柱、地方創生の切り札と位置付け、精力的に取り組んできた。その結果、外国人旅行者は、政権発足前の800万人から、昨年は2,400万人を数え、さらに今年は2,800万人を超える勢いとなっている。

- ・しかし、この数字に甘んじるつもりはない。観光先進国のイタリアさらにはフランスなどを目標に、2020年4,000万人、2030年6,000万人の達成に向け、高いレベルの施策を展開していく必要がある。
- ・このため、「国際観光旅客税」を創設することとし、本日は、その用途に関する基本方針や具体的な施策を取りまとめた。
- ・この新たな観光財源を、世界中の人々が訪れたい日本の実現のために、先進的でコストパフォーマンスの高い施策に充当する。例えば、国際空港に、瞬時に顔を認証して通過できるゲートを整備し、快適な旅行環境をつくりだす。併せて、透明性確保のため、行政事業レビューを活用し、第三者によるチェックもしっかりと行っていく。
- ・先の衆議院選挙において全国を回った際、改めて、観光に対する地域の熱い期待を直に感じた。アイデア次第で、地域の文化や歴史も、世界から観光客を集めるキラーコンテンツに生まれ変わる。SNSで世界に発信することができる。観光は地方に大きなチャンスを生み出す。
- ・今後とも「できることは全て行う」方針のもと、「観光先進国」という新たな国づくりのために、政府一丸となって全力で取り組んでいく。

○石井国土交通大臣より閉会

- ・本日の第8回会議はここで閉会とする。なお、本日の議事については、公開することを予定している。

以上